

# 安全報告書 2022

---

# 安全報告書 2022

この報告書では、鉄道事業法に定められている「鉄道事業」「索道事業」に関する安全への取り組みをご報告します。

## 1. ごあいさつ

「安全報告書 2022」の発行にあたって..... 1

## 2. 「輸送の安全」確保にむけて

安全方針、行動規範..... 2

2022 年度 安全重点施策..... 3

## 3. 2021 年度 事故・障害に関するご報告

(1)事故・輸送障害の発生件数..... 5

(2)原因別にみる事故・輸送障害の概況..... 6

(3) 2021 年度に発生した鉄道運転事故の概要と再発防止策..... 7

## 4. 安全確保のための取り組み

(1)重要安全施策..... 9

(2)安全教育..... 11

(3)緊急時対応訓練..... 13

(4)安全投資..... 14

(5)新型コロナウイルス感染拡大予防..... 16

## 5. 近江鉄道の安全管理体制

(1)安全管理体制..... 17

(2)安全管理の方法..... 19

## 6. お客さま・沿線の皆さま・関係機関との連携

(1)お客さま・沿線の皆さまへの P R..... 22

(2)関係機関との協働..... 22

(3)お客さまの声を受けて..... 23

# 1. ごあいさつ

「安全報告書 2022」の発行にあたって・・・

いつも近江鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素より当社事業に対してご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

近江鉄道では、西武グループのグループビジョンに掲げられている『常に「安全」を基本にすべての事業・サービスを推進します。』という理念のもと、鉄道及びロープウェーを運営している交通事業者として、輸送の安全を確保することを最大の使命としております。また、コンプライアンスの徹底と安全最優先の企業風土の醸成に努め、「一致協力して輸送の安全確保に努めること。」という行動規範に従い、全ての役員・社員一人ひとりが使命感、責任感を持って、安全輸送の完遂を目指しております。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき、当社における輸送の安全確保のための取り組みや、事故・輸送障害の発生状況と再発防止策など安全に対する取り組みをまとめたもので、当社をご利用のお客さま及び地域の皆さまに広くご理解いただくために作成いたしました。

2021 年度は続けて 2 度の脱線事故を起こしてしまいました。この経験を決して忘れることなく、失ったお客さまからの信頼、そして様々な関わりを持って接していただいている地域の方々からの信頼をしっかりと取り返すべく、安全最優先としてあらゆる施策について取り組んでまいります。

最後になりますが、ご利用のお客さま、地域の皆さまのご支援・ご協力のもと、滋賀県湖東地域における重要な交通インフラの一端を担う事業者として、これからも地域の豊かな暮らしを支え、人々の交流や出会いを生み出す持続可能な地域公共交通を目指し、引き続き全役員・全社員が一丸となって努力をしてまいります。

さらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022 年 9 月

近江鉄道株式会社  
代表取締役社長 飯田 則昭

## 2. 「輸送の安全」確保にむけて

近江鉄道では、「安全方針」を制定し周知徹底を図るとともに、重点目標及び重点施策を定め、安全体制強化に向けた取り組みを行っております。

### 安全方針

近江鉄道は、常に「安全」を基本に事業を推進し、安全管理規程に「安全に係る行動規範」を次のように掲げ、社長以下社員等に周知・徹底します。

安全・安心・安定輸送と快適なサービスを提供するとともに、地域・社会の発展に貢献していきます。

### 行動規範

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と認められる取扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

## 2022年度 安全重点施策

### ▶ 鉄道事業

#### 重点目標

#### 責任事故・重大インシデント「ゼロ」

#### 行動計画

- ①安全を最優先とする意識の構築
- ②設備、施設の安全性向上の推進
- ③コミュニケーションの強化

#### ●重点目標について

わかりやすく、定量評価できる数値目標としており、この目標は最大かつ最低限の達成しなければならないものとして考えており設定しています。

#### ●行動計画①

安全を最優先とする意識を一から作り上げていく必要があると考え、行動計画の一つ目に「安全を最優先とする意識の構築」を設定しました。既存のルールの再確認を行い、必要に応じて見直し、ルールが不足している場合には新設を行うとともに、ルールを理解し実行できるように教育・訓練を実施します。

ヒヤリハット・事故の芽情報については一人一件の提出を目標に掲げ、要因・分析をしっかりと行い必要な対策を講じていきます。

#### ●行動計画②

設備・施設の安全性向上のためには、日頃の点検業務において不具合や故障の前兆を早期に見ることが重要です。これまでの点検方法の見直しを行い、定量的に判断できないものは判定の指標を定め、誰が行っても同じ判断が出来る点検方法を定め、実践できるように計画的に教育・訓練を行います。定期点検や検査の結果を速やかに共有、計画的な修繕を実施、また継続的かつ効率的な設備投資を行い、事故の防止に努めてまいります。

#### ●行動計画③

部内および社内外に情報発信が不足しないよう、緊急時の体制を整備し適切な情報発信ができる体制を構築するためルールを見直します。また、職場内や現場と本社の意思疎通の機会を増やし、風通しを良くするため、会議や打合せ方法を工夫してコミュニケーションを強化するとともに質を高め、安全輸送を確保してまいります。

## ▶ 索道事業

年間重点目標

**「機械・設備に対する知識と注意力の向上による危険予知で、事故 0 件」**

安全重点施策

- ① ヒヤリハット情報の共有と活用で安全確保と事故防止の徹底
- ② 係員教育による専門知識向上により、個々の対応力の向上
- ③ 災害および異常気象時、お客さまの安全確保強化のための整備

● 年間重点目標は、長く蓄積してきたヒヤリハット情報の活用を不変の取り組みとしていく重要性と、係員個々の機械・設備に対する知識と注意力の向上により危険予知に努め、継続して安全風土の醸成を目指すことで索道係員の技術力向上になり、事故の未然防止に繋がると考え設定いたしました。この目標を達成するために安全重点施策を定めております。

● 安全重点施策①は、過去のヒヤリハット情報を教訓にリスクを把握し、社員ミーティングや新人教育の強化で情報を共有すること。始業点検などの点検による早期発見による交換・整備により事故の未然防止につなげ、それによって安全を確保することを徹底します。

● 安全重点施策②は、熟年者よりの若年者と新入社員への技術継承と活用を確実に行うことにより専門知識を向上させ、注意力と危険予知能力でリスク低減を図り、付属施設や自然災害によるヒヤリハット事案に対してや、コロナ関連(マスク不着用)による事案などの営業上すべての事項についても熟練者の経験値の伝承でさらなる安全性を確保することにより、事故の未然防止を図ってまいります。

● 安全重点施策③は、災害および異常気象でのロープウェイの乗客救助は最重要義務である。また山頂へ上がられているお客さまの救助も大切であり、安全の確保に役立てるため今年度登山道確認を実施し、関係各所と協力し整備に当たり気配りと注意喚起を徹底しリスク低減を図り、安全確保に努めてまいります。

## 3. 2021年度 事故・障害に関するご報告

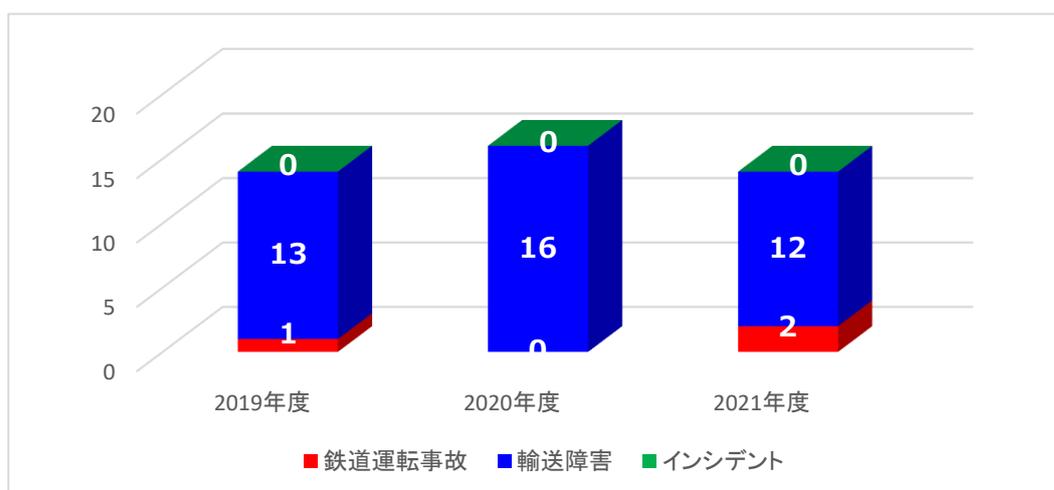
2021年度の当社における事故・輸送障害については、鉄道事業では14件発生し、索道事業では19件発生しました。皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。今後、発生件数の減少や無事故の継続のために、あらゆる対策を講じ事故防止に努めてまいります。

### (1) 事故・輸送障害の発生件数

#### ▶ 鉄道事業

2021年度の鉄道事業における鉄道運転事故・輸送障害の発生件数は、計14件です。その内訳は、鉄道運転事故2件、輸送障害(自然災害含む)12件、インシデント0件となりました。

鉄道運転事故・輸送障害の発生件数の推移 [3ヶ年比較]



[用語の意味]

1. 鉄道運転事故 = 列車または車両の運転に関して人の死傷または物の損害を生じたもの。
2. 輸送障害 = 列車の輸送に障害を生じたもので鉄道運転事故以外のもの。
3. インシデント = 鉄道事故等が発生するおそれのあるもの。

#### ▶ 索道事業

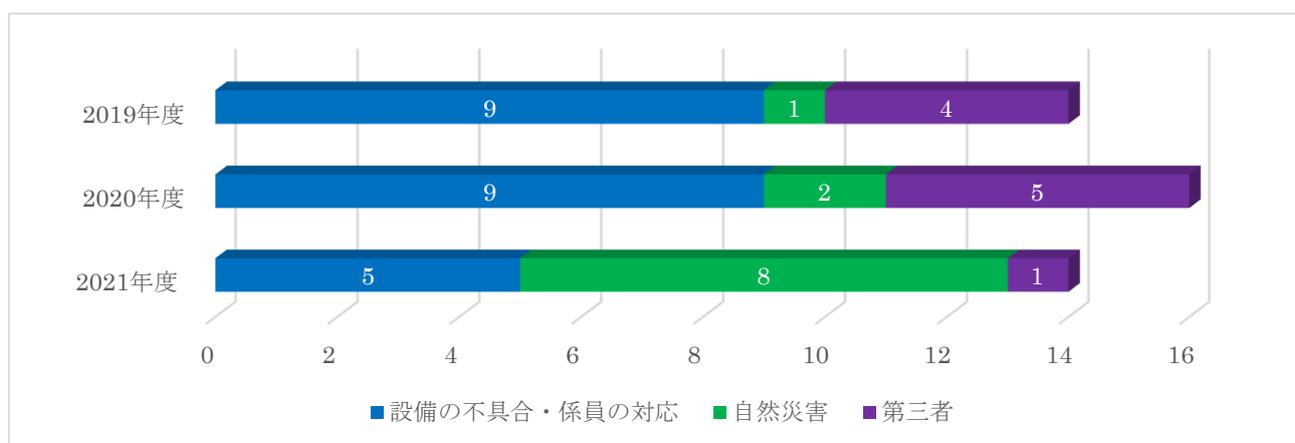
2021年度の索道事業における索道運転事故(索道人身傷害事故)、インシデントについては0件でした。また、自然災害(雷・強風・大雪)による運行停止は19件となりました。

## (2)原因別にみる事故・輸送障害の概況

### ▶ 鉄道事業

2021年度の鉄道運転事故・輸送障害を原因により大別すると、車両故障および運転保安設備故障等「設備の不具合によるもの」「係員の対応によるもの」が5件、大雨や落雷、雪害等「自然災害によるもの」が8件、踏切事故等「第三者によるもの」が1件となりました。

事故・障害の原因別発生件数 [3ヶ年比較]



### 2021年度 事故・障害の原因別内容、内訳

事故・障害の原因別内容	内訳件数
設備の不具合または係員の対応によるもの	電線路故障1件、線路故障3件、係員の対応によるもの1件
自然災害によるもの	水害1件、雪害7件
第三者によるもの	火災1件

### (3) 2021 年度に発生した鉄道運転事故の概要と再発防止策

#### 鉄道事業

2021 年度、当社では 2 件の鉄道運転事故を発生させてしまいました。皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。これらについては、原因を分析し、同種の事例を再度発生させることがないように再発防止策を講じております。

概要については、下記のとおりとなっております。

#### 1. 2021 年 12 月 27 日（月）13:48 ごろ 彦根口駅構内 岡道踏切付近での列車脱線事故

概要： 前日からの降雪で列車の運転を見合わせていた区間の運転再開に向けた線路点検を行うため、彦根駅から八日市駅まで試運転列車（係員 9 名乗車、一般乗客なし）を運行。試運転列車が彦根口駅を出発し当該踏切を走行中、運転士が異音を感じたためただちに非常ブレーキにて停車。車体を確認したところ、1 両目の台車 1 軸目が進行方向左側に脱線していました。



推定原因：車体の床下及び台車の周辺に大量の雪を抱き込んだ状態で走行していたため、踏切上にあった圧雪に乗り上げたことが原因と考えております。また、踏切のレール部と踏切床板との隙間（フランジウェイ）部分の圧雪も脱線に影響した可能性があります。

対策： 降雪時の対応方について、他社の取り組みなどを参考に深度化をはかりマニュアルを策定しルールを確立しました。また、線路上の除雪効果を高めるため一部の列車に除雪装置（スノーブロウ）を増備することとしました。



(上) スノーブロウ

(右) スノーブロウを取り付ける  
予定の 100 形車両



## 2. 2022年2月7日（月）21:17ごろ 高宮駅構内での列車脱線事故

概要： 多賀大社前発高宮行き普通列車（乗客約100名）がスクリーン駅を定刻で発車し、高宮駅手前の右カーブを走行中、運転士が異音を感じたためただちに非常ブレーキにて停車。車体を確認したところ、1両目と2両目の車輪の一部が脱線していました。



推定原因：マクラギとレールを固定する器具に緩みや破損がある状態で列車が通過したため、通過した際に車両の重みがかかりレールとレールの間隔が広がり脱線しました。

対策： 現場および現場と同様の条件の箇所では、緊急点検・補修を行い、同じ事象が発生しないよう応急処置を実施しました。引き続き交換が必要なマクラギの交換を行うとともに、全線の木製のマクラギをコンクリート製のマクラギに交換する計画を策定し、順次工事を進めています。計画の策定にあわせ、マクラギの交換を効率的に実施できるように保線用機械（軌道モーターカー）を導入しました。

また、マクラギとレールを固定するための器具の検査方法や判定方法について、定期検査マニュアル（軌道編）を明確に規定し、関係係員に対する教育を実施しました。



教育のようす



軌道モーターカー

## 4. 安全確保のための取り組み

お客さまが安心して当社をご利用いただけるように、さまざまな取り組みを行っております。

### (1)重要安全施策

#### ▶ 鉄道事業

##### ◆踏切の安全性向上

##### ◎踏切保安装置の更新

2008（平成20）年度より中長期で踏切保安装置関係機器更新計画を立て、踏切しゃ断機、踏切送受信機、踏切整流器、踏切器具箱の更新を実施し、踏切道の安全対策を図っております。

また、踏切安全対策のため、現存する第4種踏切道の閉鎖を前提に踏切道の統廃合を踏まえた中で、沿線自治体および地元住民の方と協議を重ね安全性向上を図ってまいります。

※ 第1種：踏切警報機及び自動踏切遮断機を設置して、道路を遮断するもの。

第4種：踏切遮断機も踏切警報機も設置されていないもの。

##### ◆施設の安全性向上

##### ◎老朽設備対策

老朽した設備は更新計画を立て、木枕木・道床などの交換や踏切保安設備・信号保安設備・変電所機器・車両などの更新を計画的に行い、鉄道運行の安全性向上を図っています。

##### ◎設備の機能向上

設備の機能向上や高規格化工事を行い、鉄道運行の安全性、利便性、乗り心地の向上を図っています。



## ◆その他の安全対策

### ◎テロ対策

テロ対策の周知徹底のため、不審物発見時の三原則をポケット時刻表の表紙に掲出する等、お客さまへの啓発活動を実施するとともに、車両基地においては、監視カメラを設置し不審者の侵入を監視しております。

また、不審物警戒のため、ゴミ箱の集約や「警戒腕章」を着用してのパトロールを行っております。



### ◎自動体外式除細動器(A E D)の設置

急病のお客さまの救急救命活動を円滑に行うため、心停止の際に心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す自動体外式除細動器(A E D)を、彦根駅・八日市駅・貴生川駅・近江八幡駅に設置しております。

## ▶ 索道事業

### ◆軸受振動検査

毎年1回、索道機械の軸受振動検査を実施しております。



## (2)安全教育

### ▶ 鉄道事業

安全教育につきましては、毎年部門毎に年間計画を策定し、鉄道係員の教育の充実を図っております。

- ◇ 5月 春の全国交通安全運動事前研修
- ◇ 7月 安全運転推進運動事前研修
- ◇ 9月 秋の全国交通安全運動事前研修
- ◇ 12月 年末年始輸送等に関する安全総点検事前研修

※2021年度は、コロナ禍の影響で密を避けるため集約型での研修は中止し、書面による周知を図りました。

#### ◆乗務員・駅務員教育

年間計画に従い乗務員及び駅務員研修を開催し、安全意識の向上を図るとともに、安全性を高めるための実践的な教育を実施しております。



#### ◆電気・保線・車両部門教育

電気・保線・車両部門では、年間計画に従い暴風・水害・雪害等の自然災害及び踏切道における安全対策、また部門毎の実設訓練や研究発表等を実施し、年間を通じお客さまの安全を確保するための安全教育を実施しております。



## ▶ 索道事業

### ◆ 安全教育

技術管理者、技術管理員、索道係員が出席し、「索道安全ミーティング」と称する従業員教育を毎月1回実施し、ヒヤリハット情報の共有と意見交換、異常気象時における運行上の注意点や対応方法、乗降客への案内方法などを各種マニュアルにより実施しています。新入社員研修は基礎教育を徹底して行い、基本動作の徹底を身につけます。問題点があったときは、改善方法を見出し全係員に周知し安全に関する意識を高めました。また、毎回新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底と予備原動機操作訓練などの訓練教育も行い、安全に関する意識高揚を図りました。



### (3)緊急時対応訓練

#### ▶ 鉄道事業

毎年、過去に発生した事故や他社で発生した事故の教訓を活かし、いざという時に迅速・的確な行動がとれるよう異常時訓練を行っております。訓練を重ねることで不測の事態に備えております。



#### ▶ 索道事業

毎年 1 回救助訓練を実施しております。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年引き続き自社のみで実施しました。今後も安全確保重視でさらなる安全・安心の提供に努めます。



## (4)安全投資

近江鉄道では、これからもお客さま一人ひとりに、いつでも安心してご利用いただけるよう安全投資を実施してまいります。

### ▶ 鉄道事業

輸送の安全の確保が最重要課題であることを自覚し、安全の維持及び向上のために鉄道施設・車両への投資を行っております。

#### ◆2021 年度に実施した主な安全投資

レールの重軌条化（愛知川駅構内、日野～水口松尾間、近江八幡構内）・P C 枕木化（彦根口駅構内、日野～水口松尾間、近江八幡駅構内 他）・道床更換（大学前駅～桜川駅間）・分岐器更新（彦根口駅構内）・踏切道改修（沼波 2 号踏切、四ツ辻踏切 他）・プラットホーム点字ブロック新設、更新（鳥居本駅、豊郷駅）・信号保安設備更新、改良（彦根、日野の電気転てつ機更新、平田駅軌道回路機器更新 他）・踏切保安設備更新（踏切遮断機更新 他）・電車線支持物更新（京セラ前～朝日大塚間 ）・変電所機器更新（八日市リアクトル、水口直流電源装置） 他



#### ◆2022 年度に実施計画の主な安全投資

橋梁改修（愛知川橋梁）・レールの重軌条化（水口石橋駅～貴生川駅間）・P C 枕木化（川辺の森駅～八日市駅間、水口石橋駅～貴生川駅間 他）・道床更換（京セラ前駅～桜川駅間、日野駅～水口松尾駅）・踏切道改修（高宮 11 号踏切）・信号保安設備更新（信号制御リレー更新 他）・電気融雪器新設（彦根駅）・踏切保安設備更新（踏切遮断機更新、踏切器具箱更新 他）・電車線支持物更新（水口松尾駅～水口駅間）・車体更新 他

## ▶ 索道事業

安全の維持向上のため、毎年計画的に次年度の投資・補修を実行しております。

### ●八幡山ロープウェー

#### ◆2021年度に実施した主な安全投資

山頂駅舎出入口ドア交換工事 … 2021年4月実施

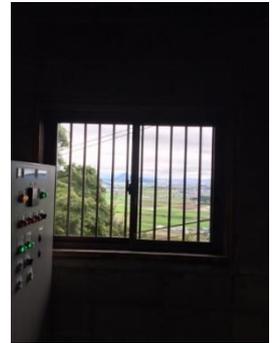
山頂駅舎換気窓交換工事 … 2021年5月実施

えい索切詰工事 … 2021年7月実施

支索ずらし・支索緊張滑車軸交換工事および定期点検

… 2022年1月25日～2月10日実施

山麓駅舎支障樹木伐採工事 … 2022年1月実施



#### ◆2022年度に実施計画の主な安全投資

軸受振動検査 … 2022年4月実施

搬器シート張替 … 2022年4月実施

搬器内抗菌コート … 2022年4月実施

山麓駅舎内防犯カメラ増設 … 2022年4月実施

山麓駅・山頂駅の乗降場壁面改修 … 2022年5月実施

山麓駅舎屋根塗装 … 2022年6月実施

山麓駅・山頂駅の受索装置塗装 … 2022年8月実施予定

山麓駅舎トイレ改修工事 … 2022年9月実施予定

平衡索油圧緊張シリンダー及び予備原動制動装置交換工事…2023年2月実施予定

## (5)新型コロナウイルス感染拡大予防

近江鉄道では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大対策を実施しています。

### ▶ 鉄道事業

鉄道車両では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止として（悪天候時を除き）車両の一部の窓を開けるなどの換気を実施しております。また、車両基地への入庫後にアルコール等による車内消毒作業を実施しております。また、駅窓口・改札口においてはソーシャルディスタンスの確保、定期的な消毒のほか、透明なビニールシートを用いて飛沫拡大防止を図っております。

従業員は、出勤時に健康状態の確認および体温測定を行い、業務中はマスクを着用し感染拡大防止に努めております。

### ▶ 索道事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、引き続き政府・関係省庁などからの指示・通達の厳守を行います。緊急事態宣言などへは柔軟に対応し、お客さまと従業員の安全確保と安心を提供します。乗車人員を抑制しての運行、搬器内抗菌コート施工、ソーシャルディスタンスの徹底、搬器内の換気、施設の定期的なアルコール消毒、従業員の健康確認と検温チェック、マスクの着用などの対策につきましても継続して実施してまいります。

## 5. 近江鉄道の安全管理体制

2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築し運用しております。また、社員一人ひとりが安全意識の向上に努めております。

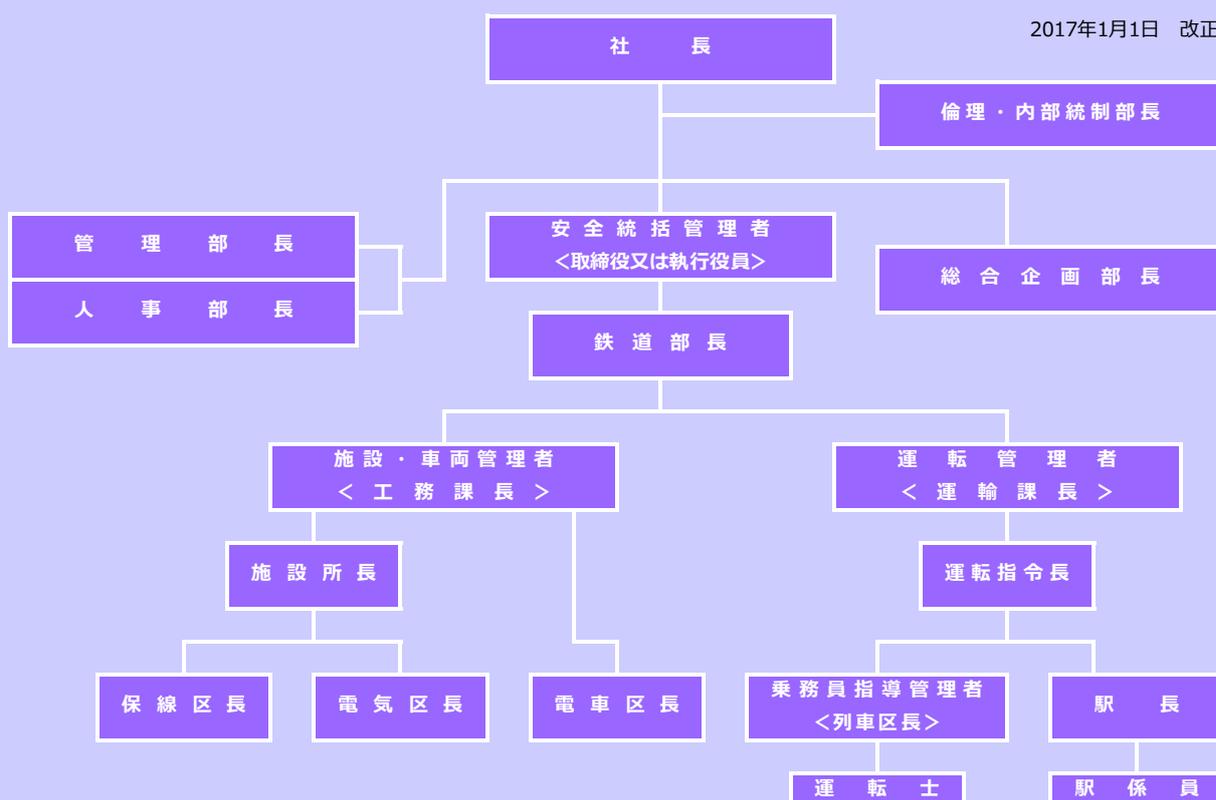
### (1)安全管理体制

#### 鉄道事業

鉄道においては、「社長」をトップに、「安全統括管理者」「運転管理者」「乗務員指導管理者」「施設・車両管理者」を選任し、各管理者の責務を明確にしております。

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設及び車両における安全の確保に関する事項を統括する。

#### 安全の確保に関する体制及び運転の管理に係る体制

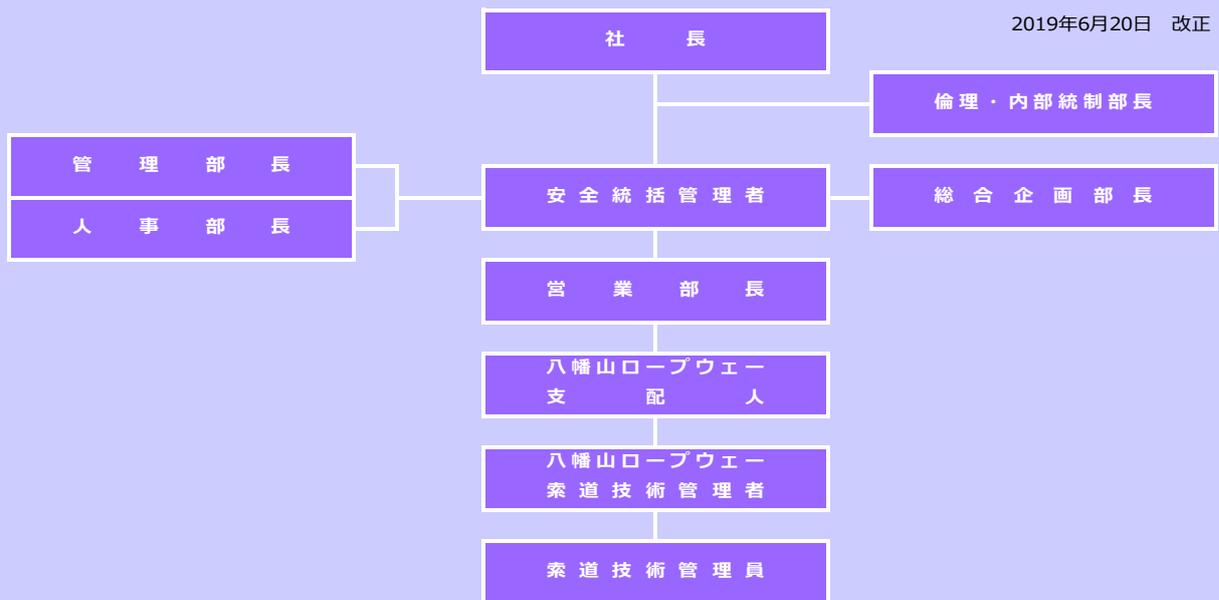


## 索道事業

索道においては、「社長」をトップに、「安全統括管理者」「支配人」「索道技術管理者」「索道技術管理員」を選任し、各責任者の責務を明確にしております。

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
営 業 部 長	輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括し、支配人以下各管理者等の行う業務を統括管理する。
支 配 人	安全統括管理者の指揮の下、事業所に属する安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	支配人の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上及び教育訓練等の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

### 安全の確保に関する体制及び運転の管理に係る体制



## (2)安全管理の方法

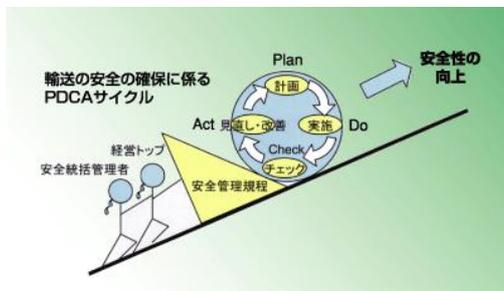
### ◆安全管理規程

輸送の安全を確保するために、遵守すべき事業の運営方針や事業の実施、管理体制と方法を定めることにより安全管理体制を確保し、輸送の安全水準の維持及び向上を図ることを目的に制定いたしました。

### ◆安全マネジメントに係わる体制づくり

近江鉄道では、安全マネジメントのP D C Aサイクルが適切に機能しているか、年 1 回内部監査を行い、継続的な安全性の向上を図っております。

また、2010年2月1日に「安全管理体制に係る内部監査規程」を制定し、内部監査体制の充実を図っております。



### ◆経営トップ等による現業職場巡視の実施

社長をはじめ、安全統括管理者および役員等が安全を支える現場を巡視し、安全管理の状況を確認するとともに、現場職員とコミュニケーションの活性化を図っております。



### ◆近江鉄道グループ安全推進委員会の開催

近江鉄道グループの事業において、安全輸送に努め社会的使命を果たすために、適切な安全マネジメントを行い、継続的な安全性の向上維持をはかることを目的として、2009年9月1日より社長をトップに「近江鉄道グループ安全推進委員会」を設置し、毎月1回委員会を開催し、安全性の向上を図っております。

#### ◆緊急事態・防災体制

鉄道事故の重大な運転事故(輸送障害事故等を含む)や索道の輸送事故、自然災害(暴風雨・河川氾濫・雪害)による緊急事態が発生した場合における救援応急処置及び復旧の体制を定め、この影響を最小限にとどめるよう「西武グループ危機管理規程」「近江鉄道グループ危機管理マニュアル」、「鉄道事業緊急時対策内規」と「自然災害発生時及び発生危惧時の対応手引き」により対応しております。

### ▶ 鉄道事業

#### ◆安全に関する会議

鉄道部門では、毎月1回安全統括管理者を長として「鉄道安全会議」を開催し、運輸・工務各部門の責任者がこの会議で安全輸送等に関する集計・分析・報告をもとに、未然防止策及び再発防止策等の安全対策について意見交換を行っております。

### ▶ 索道事業

#### ① 安全統括管理者による巡視 … 毎月1回

安全統括管理者による巡視を実施し、ロープウェイおよび付属施設の安全対策についての情報共有・意見交換および各種点検簿の点検確認を行い、安全向上に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策についての指示もおこなわれました。



#### ② 索道安全推進会議 … 毎月1回

安全統括管理者、支配人、本社関係者が出席しリモート開催を活用して、ヒヤリハット情報報告を行い、未然防止策・再発防止策などの安全対策についての協議検討と、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と索道安全ミーティングの報告を実施し、安全についての情報共有を図りました。



#### ③ 支配人会議 … 毎月1回、随時

安全統括管理者、支配人、各事業所支配人、本社関係者が出席する本社会議において、索道および各事業の安全に関する事項や問題点、新型コロナウイルス感染拡大防止対策などの報告を行い、情報共有と未然防止策・再発防止策などに



ついでに協議検討を実施しました。

④ 索道事業に関する研修会、各種セミナー、シンポジウムへの参加

国土交通省および関西鋼索交通協会の主催の研修会、各種セミナー、シンポジウム等の多くが新型コロナウイルスの関係上書面やリモートによる開催だったが、安全統括管理者、技術管理者の知識向上は図れました。

⑤ 春・秋の全国交通安全運動や、年末年始の輸送等に関する安全総点検など、各種安全運動の取り組み

全員に、趣旨と実施要綱を説明し、ポスターとのぼりの設置を行い、お客さまへの周知も図りました。全国交通安全運動期間中や年末年始の輸送等に関する安全総点検の期間中は社長、安全統括管理者、営業部長による巡視と訓示を行い、安全に対する意識高揚を図りました。



## 6. お客様・沿線の皆さま・関係機関との連携

近江鉄道では、広報活動やイベント等を通して、ご利用のお客様・沿線地域の皆さまと連携を高めるよう努めております。

### (1) お客様・沿線の皆さまへのPR

#### ◆各運動キャンペーンへの参加

春・秋の全国交通安全運動、踏切事故防止キャンペーンにあわせ、踏切の安全な横断を呼びかける等の活動を行っております。



### (2) 関係機関との協働

#### ◆こども 110 番の駅への協力

お子さまを狙った犯罪の防止や安全な地域づくり等を目的として、日本全国の鉄道事業者と共同で「こども 110 番の駅」の取り組みに協力しております。近江鉄道では米原・彦根・高宮・八日市・近江八幡・貴生川駅で「こども 110 番の駅」ステッカーを掲出し、お子さまが助けを求めた場合に駅係員はお子さまを保護し、お子さまにかわって 110 番通報を行う等安全確保の体制を整えております。

また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、お子さまにとって楽しく、フレンドリーな駅づくりを目指しております。

### (3) お客様の声を受けて

近江鉄道では、ご利用のお客さまや沿線自治体等からのご意見やご要望を受け、お客さまの立場に立ったサービスの提供ができるよう努めております。また、災害や事故等により列車運行に多大な影響が生じる場合は、近江鉄道ホームページでご案内させていただいております。

今後も、お客さまのご意見・ご要望等を経営に反映させ、安全の確保を図りたいと考えております。

## 7. 連絡先

### 近江鉄道株式会社

〒522-8503 滋賀県彦根市駅東町1 5 番 1

URL <http://www.ohmitetudo.co.jp/>

鉄道部 Tel. 0749-22-3303

8:40~17:20(土・日・祝日及び年末年始をのぞく)

メール [railway@ohmitetudo.co.jp](mailto:railway@ohmitetudo.co.jp)

営業部 Tel. 0749-22-3312

〔索道〕 8:30~17:30(土・日・祝日及び年末年始をのぞく)

メール [info@ohmitetudo.co.jp](mailto:info@ohmitetudo.co.jp)

